

重症領域におけるバンコマイシンの初期 AUC が早期腎毒性に及ぼす影響に関する研究

1. 研究の対象

5山病棟、ICU、HCU、救命ICUの救命診療科に入院され、2019年4月から2023年3月の期間でバンコマイシンの投与が行われた患者（18歳未満の患者、バンコマイシンの投与開始から72時間以内に血液透析を施行された患者は対象外です）

2. 研究目的・方法

バンコマイシン(以下VCM)は、血中濃度-時間曲線下面積(Area under the Concentration:AUC)を最小発育阻止濃度(minimum inhibitory concentration:MIC)で割った値であるAUC/MICが有効性の指標とされ、Methicillin-resistant Staphylococcus aureus(MRSA)感染症においては $AUC/MIC \geq 400$ を目標とするとされています。また、同時にAUCは、VCMの有害事象の一つである腎毒性発現の指標としても知られており $AUC \geq 600$ が腎毒性のリスク因子であるとされています。腎毒性の研究の多くはVCMが複数回投与された後の血中濃度（定常状態）で評価されており、投与初期のAUCと腎毒性の関係性を調査した報告はほとんどありません。そこで今回、我々は、VCMが投与開始されて24時間までのAUC、24時間から48時間までのAUCとVCM投与開始から72時間までの腎毒性発現の関係性を調査することとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

体重、身長、性別、年齢、血清クレアチニン値、併用薬の有無（ピペラシリン/タゾバクタム、カテコラミン、フロセミド、Nsaids、アミノグリコシド、アムホテリシンB）、SOFAスコア(データ欠損の可能性が高いため呼吸と心臓の項目に関しては除外)、VCMの投与量、VCMの血中濃度など

4. 外部への試料・情報の提供

該当しません

5. 研究組織

研究責任者

りんくう総合医療センター 薬剤部門 深津 祥央

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 りんくう総合医療センター

TEL:072-469-3111

研究分担者 薬剤部門 小林 洋平

薬剤部門 釜野健太郎

研究責任者：薬剤部門 深津 祥央